

令和7年度富士山麓外来植物等調査業務委託

報 告 書

(抜粋)

令和8年1月

株式会社自然環境リサーチ

1-4 対象地所在地

- ・富士宮市～富士市
：富士山スカイライン周遊区間（標高約 1,780m付近）のうち、国有林北山林道入り口付近から富士市と裾野市の市境までの約 9 km の区間

業務対象地域の位置を図 1.1 に示す。全域が富士箱根伊豆国立公園第 3 種特別地域に含まれる。区間の標高差は 480mほどある。



図 1.1 業務対象地域位置図

3-2 外来植物

(1) 外来植物の選定基準

本調査における外来種の選定基準は表 3.12、生態系被害防止外来種リストの区分は表 3.13 のとおりである。

表 3.12 外来植物の選定基準

選 定 基 準	
①	「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(環境省, 平成17年6月施行、平成25年6月改正)における特定外来生物
②	「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト(生態系被害防止外来種リスト)」(環境省・農林水産省, 平成27年3月)における掲載種

表 3.13 生態系被害防止外来種リストの区分

総合対策外来種	国内に定着が確認されているもの。生態系等への被害のおそれがあるため、防除(外での取り除き、分布拡大の防止等)、遺棄・導入・逸出防止等のための普及啓発など総合的に対策が必要な外来種。緊急、重点、その他(正式名称を記載)の3つに区分される。
緊急対策外来種	被害の深刻度に関する基準として(ア)～(エ)のいずれかに該当することに加え、(オ)に該当する種。特に緊急性が高く、積極的に防除を行う必要がある。
重点対策外来種	被害の深刻度に関する基準として(ア)～(エ)のいずれかに該当する種。甚大な被害が予想されるため、対策の必要性が高い。
その他の総合対策外来種	総合対策外来種に該当するが、緊急対策外来種及び重点対策外来種には該当しない種。
産業管理外来種	産業又は公益的役割において重要で、代替性がなく、その利用にあたっては逸出等の防止のための適切な管理を行うことが必要な外来種。種ごとに利用上の留意事項を示し、適切な管理をよびかける。

緊急対策外来種、重点対策外来種における被害の深刻度に関する基準

(ア)	生態系に係る潜在的な影響・被害が特に甚大
(イ)	生物多様性保全上重要な地域に侵入・定着し被害をもたらす可能性が高い
(ウ)	絶滅危惧種等の生息・生育に甚大な被害を及ぼす可能性が高い
(エ)	人の生命・身体や農林水産業等社会経済に対し甚大な被害を及ぼす
(オ)	防除手法が開発されている、又は開発される見込みがある等、一定程度の知見があり、対策の目標を立て得る

(2) 外来植物の確認状況

現地調査において、特定外来生物は確認されず、生態系被害防止外来種で 9 種が確認された (表 3.14)。その 9 種の確認状況は表 3.15~23 に示すとおりである。

表 3.14 確認された外来植物

種名	生態系被害防止 外来種		西臼塚駐車 場より西側	西臼塚駐車 場より東側
カモガヤ (イネ科)	産業管理		●	●
オオアワガエリ (イネ科)	産業管理		●	
オニウシノケグサ (イネ科)	産業管理		●	●
イタチハギ (マメ科)	総合対策	重点対策	●	●
ハルザキヤマガラシ (アブラナ科)	総合対策	その他対策	●	
ヒメスイバ (タデ科)	総合対策	その他対策	●	●
ヒメジョオン (キク科)	総合対策	その他対策	●	●
セイタカアワダチソウ (キク科)	総合対策	重点対策	●	
セイヨウタンポポ (キク科)	総合対策	重点対策	●	●

表 3.15 生態系被害防止外来種の確認状況（カモガヤ）

種名：カモガヤ	(産業管理外来種)
確認箇所数：4箇所8個体 (西2、西白塚駐車場付近1、東1)	7月に日当たりの良い場所で、西に2箇所、西白塚駐車場付近に1箇所、東に1箇所確認された。



カモガヤ（令和7年7月10日）

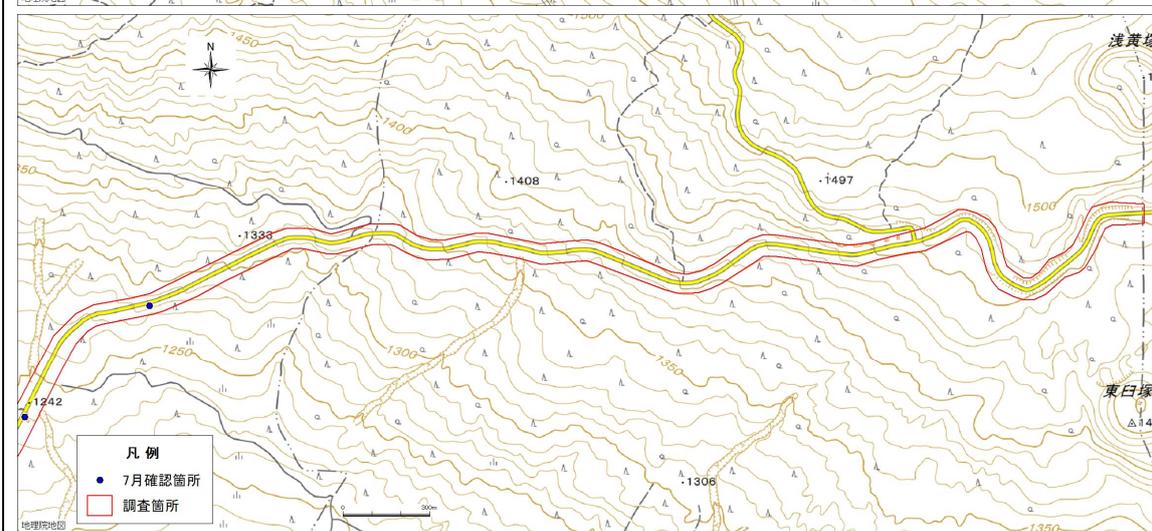
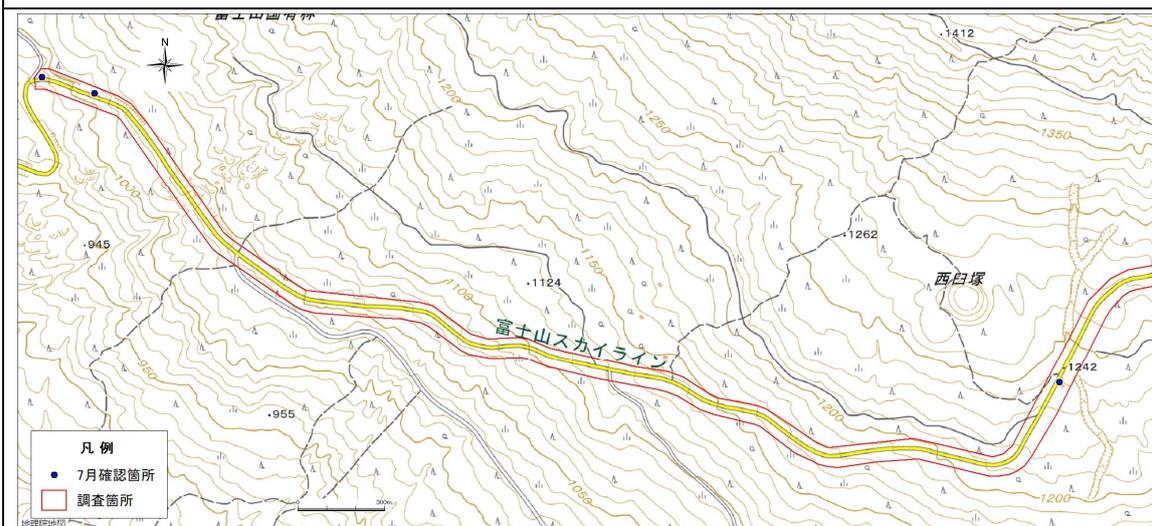


表 3.16 生態系被害防止外来種の確認状況（オオアワガエリ）

種名：オオアワガエリ	(産業管理外来種)
確認箇所数： 西臼塚駐車場周辺 1箇所 1個体	7月に西臼塚駐車場周辺で1箇所確認された。



オオアワガエリ（令和7年7月10日）

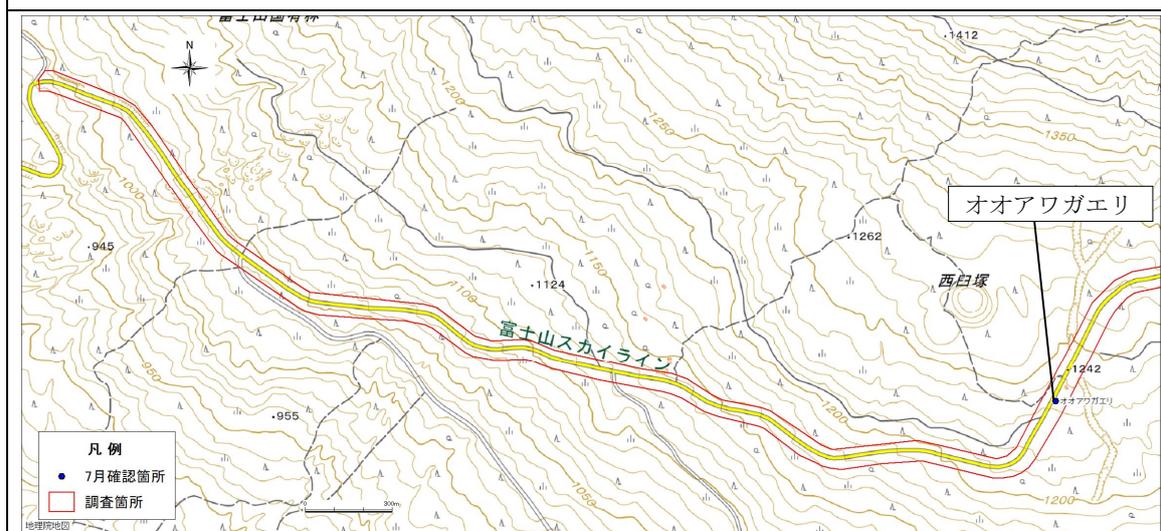


表 3.17 生態系被害防止外来種の確認状況（オニウシノケグサ）

種名：オニウシノケグサ	(産業管理外来種)
確認箇所数：61箇所 217個体 (西 39、西臼塚駐車場付近 9、東 13)	日当たりの良い場所では連続的に多く生育していた。 似た種のおオウシノケグサも多かった。



オニウシノケグサ (令和7年7月10日)

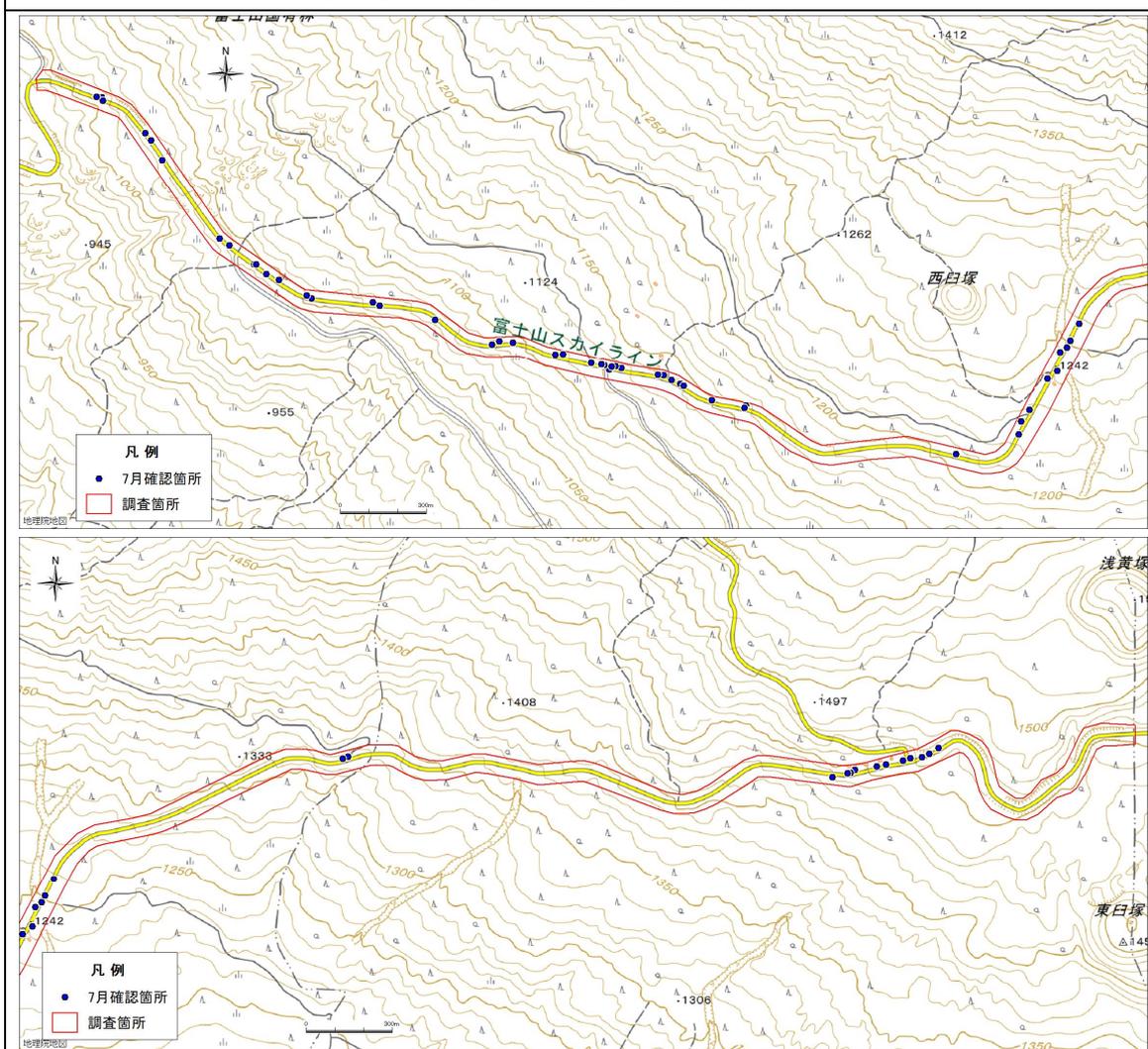


表 3.18 生態系被害防止外来種の確認状況（イタチハギ）

種名：イタチハギ	(総合対策外来種－重点対策外来種)
確認箇所数：西白塚駐車場より西側 1箇所 2 個体、東側 1 箇所 1 個体	西側の道路北側で 1 箇所 2 個体、東側の道路北側で 1 箇所 1 個体が確認された。



イタチハギ (令和 7 年 7 月 10 日)

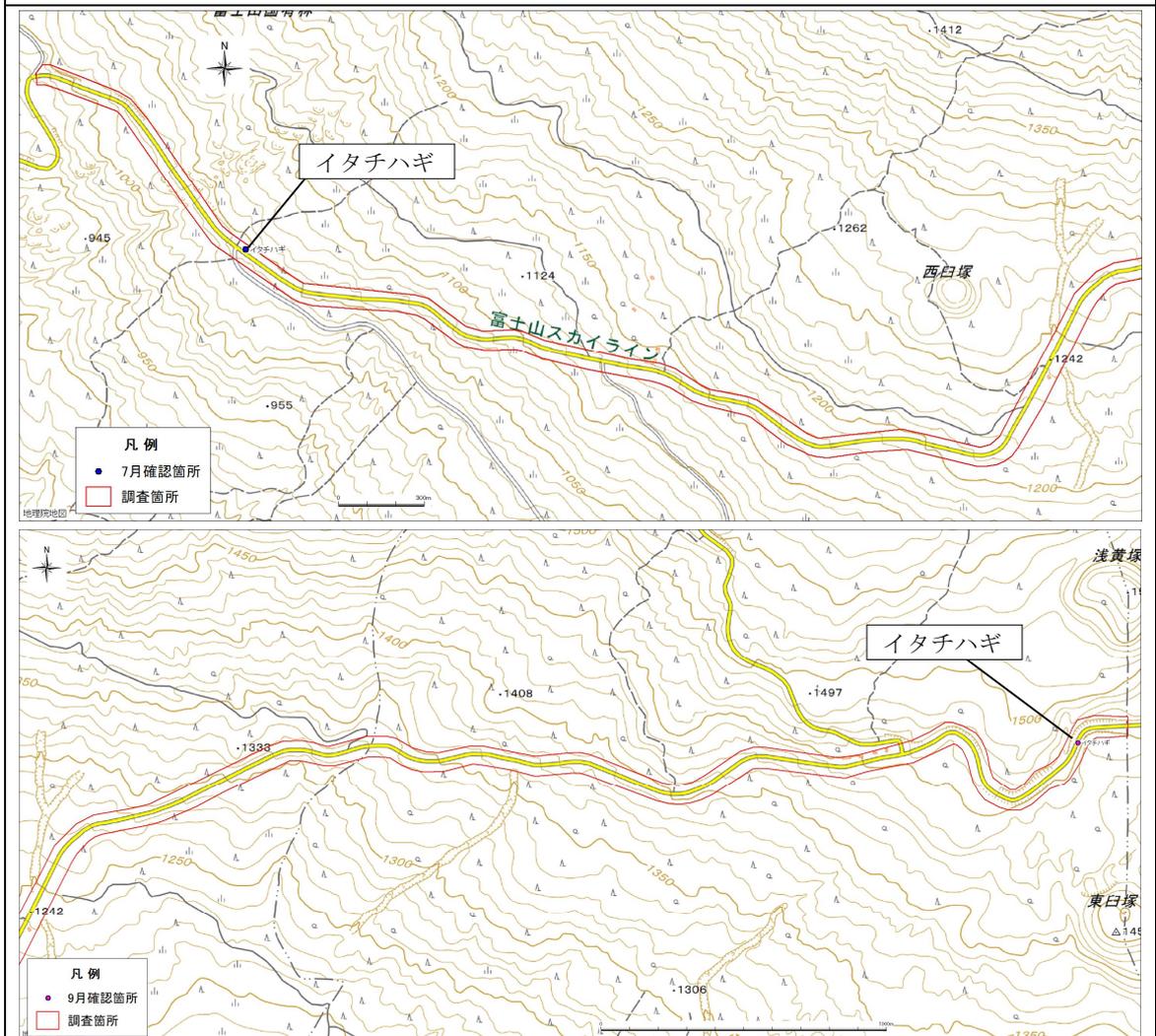


表 3.19 生態系被害防止外来種の確認状況（ハルザキヤマガラシ）

種名：ハルザキヤマガラシ	(総合対策外来種－その他の総合対策外来種)
確認箇所数： 西臼塚駐車場より西側 2箇所 30個体	5月に道路北側の2箇所で群生していた(25個体、5個体)。



ハルザキヤマガラシ（令和7年5月15日）

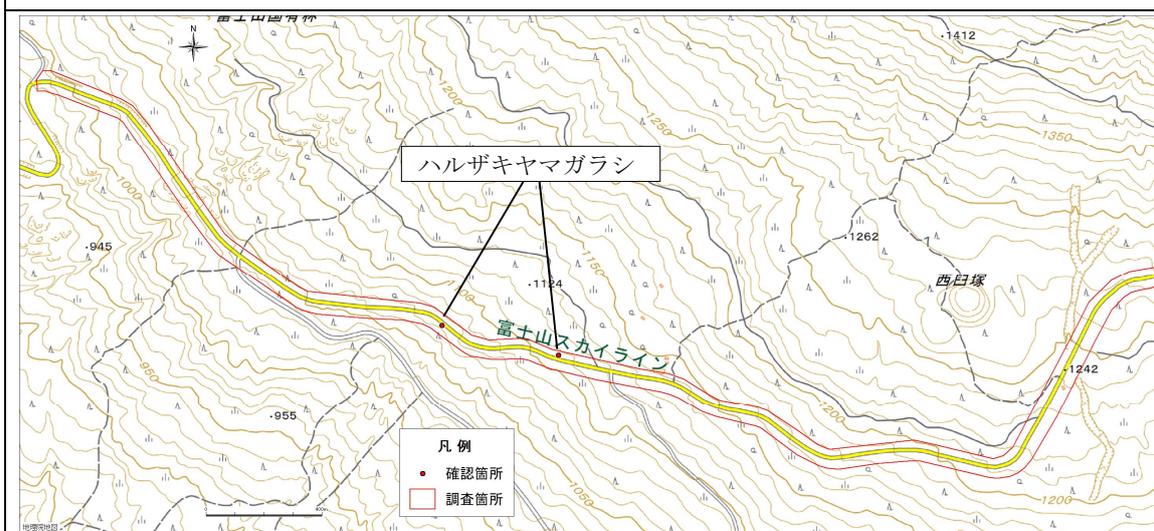


表 3.20 生態系被害防止外来種の確認状況（ヒメスイバ）

種名：ヒメスイバ	(総合対策外来種－その他の対策外来種)
確認箇所数： 西臼塚駐車場周辺 1箇所 1個体	5月に西臼塚駐車場北側の周辺で1箇所確認された。



ヒメスイバ（令和7年5月16日）

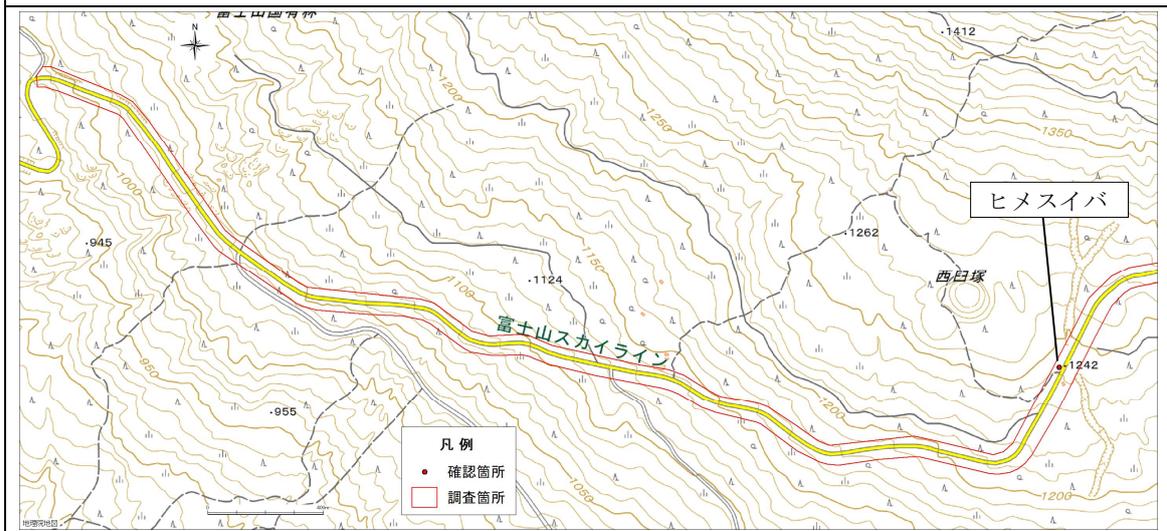


表 3.21 生態系被害防止外来種の確認状況（ヒメジョオン）

種名：ヒメジョオン	（総合対策外来種－その他の対策外来種）
確認箇所数：228 箇所 1418 個体	7月・9月に日当たりの箇所が多かった。風散布種子は着地後、速やかに発芽するため、9月では新たな個体も多かった。



ヒメジョオン（令和7年7月10日、9月17日）

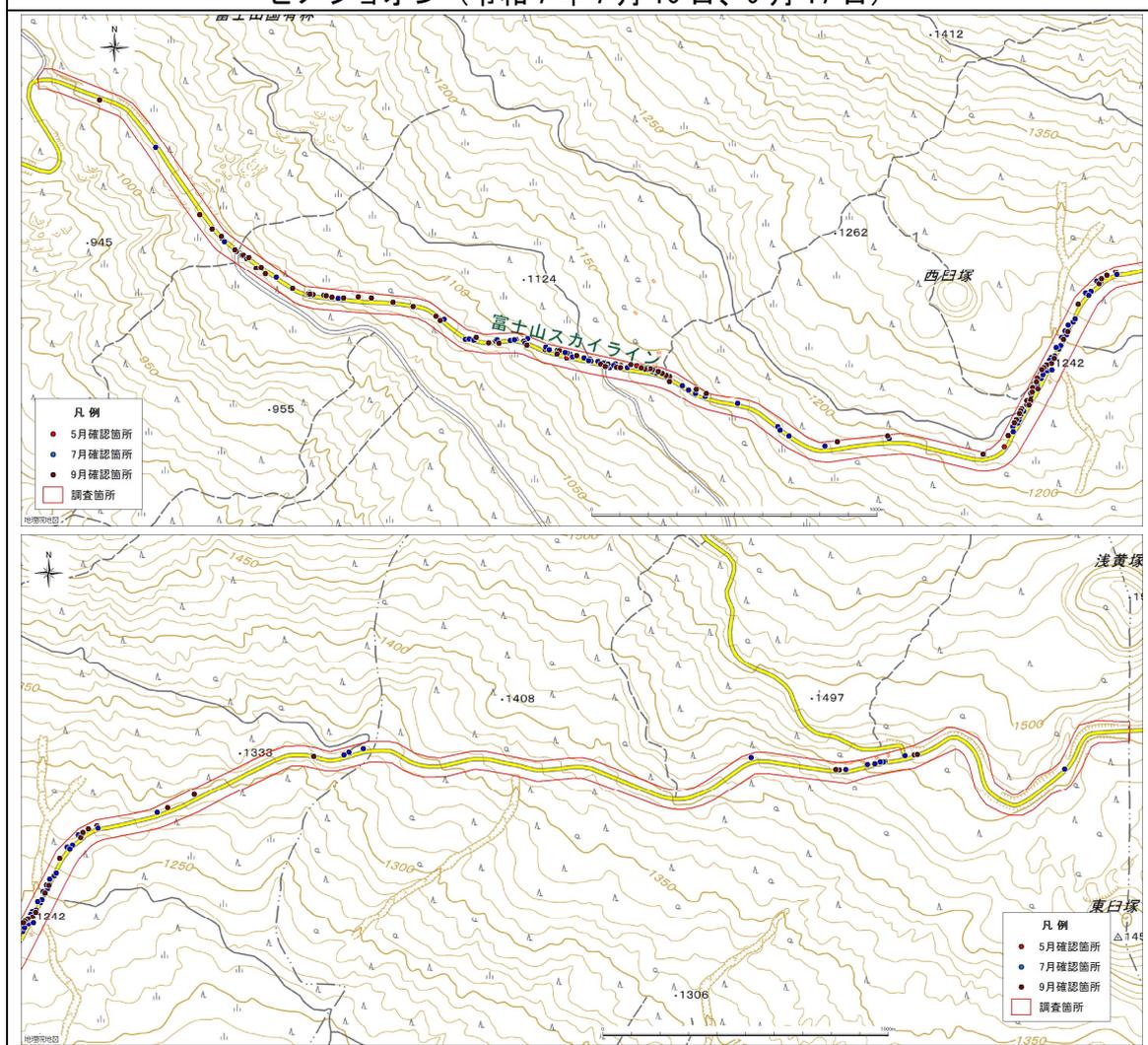


表 3.22 生態系被害防止外来種の確認状況（セイタカアワダチソウ）

種名：セイタカアワダチソウ	（総合対策外来種－重点対策外来種）
確認箇所数：1箇所6個体 西臼塚駐車場より西側1箇所6個体	道路南側の1箇所で6個体が群生していた。他では確認されなかった。



セイタカアワダチソウ（令和7年7月10日）

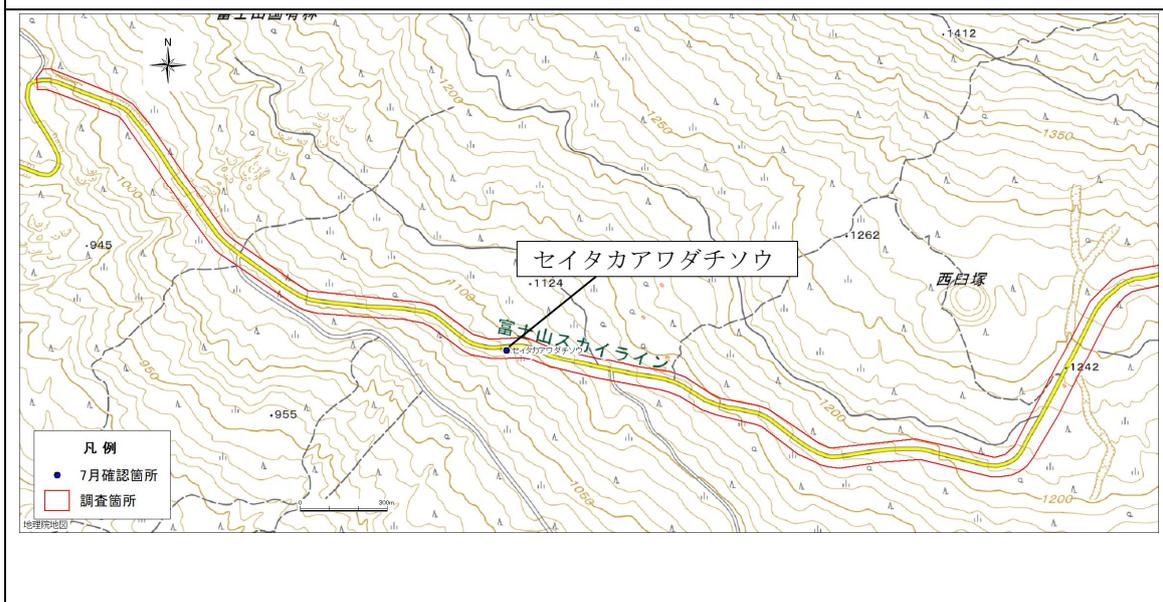


表 3.23 生態系被害防止外来種の確認状況（セイヨウタンポポ）

種名：セイヨウタンポポ	(総合対策外来種－重点対策外来種)
確認箇所数：511 箇所 1756 個体	道路の両側ともに連続的に多く生育していた。特に日当たりの箇所では多かった。9月では新たな出芽個体が多かった。



セイヨウタンポポ (令和 7 年 5 月 16 日、9 月 17 日)

